

マキシクロップラインナップ



商品名	容量	農業向け	園芸向け	ゴルフ場
トリプル	1ℓ, 5ℓ, 10ℓ	○		○
コンセントレイト	5ℓ, 10ℓ	○		○
パウダー	200g×5			○
プログリーン	10ℓ			○
オリジナル	500ml, 1ℓ		○	
オリジナル+Fe	500ml, 1ℓ		○	
オリジナル+NPK	500ml, 1ℓ		○	
石灰性海藻	1kg, 20kg	○	○	○
海藻粉末	800g, 25kg	○	○	○

マキシクロップの効果

- ① 土壌処理 (800~1000倍) すると有効土壌微生物を刺激して増殖し、微生物相を改善します。連作障害やネマトーダの害を軽減します。
- ② 毛細根の発育を促進し、根量が増え、根圏が拡大して、養分吸収効率が上がります。施肥量は少し多めにして下さい。
- ③ 葉緑素が増加し、光合成能が高まります。光合成産物が増大して品質の向上と増収につながります。
- ④ 病害・虫害に対する抵抗力を増し、農業使用量を軽減します。また、農業との併用は相乗効果が上がります。
- ⑤ 干害・過湿・冷害・霜害など悪環境下での抵抗力を高める。

マキシクロップの使用法

使用法

1. マキシクロップは一定の作付け面積に規定量を散布することが基本となりますので、散布水量により希釈倍率が変わります。
2. 施用量、散布時期 (タイミング)、回数、は効果に影響しますので守って下さい。
3. 作物別の施用量は使用基準説明書を参考にして下さい。

注意事項

1. 乾燥した風の日や日中の暑い時には散布を避けて下さい。
2. 溶解液は使用の都度お作り下さい。万一、残った場合は早めにお使い下さい。
3. 天然有機物ですから少量散布 (高濃度) でも植物体に害はありません。
4. 農薬と混用できます。但し、銅剤、除草剤との混用は避けてください。
5. 密閉して、湿気の少ない、冷暗所に保存して下さい。また、凍結させないで下さい。
6. 使用する前に容器ごとよく振ってからご使用下さい。
7. 飲用できません。幼児の手の届かない所へ保管して下さい。

代理店

株式会社 日本マキシム

〒390-0312 長野県松本市岡田松岡 42-4
TEL (0263) 45-2520 FAX (0263) 45-2521

Maxicrop



海藻抽出天然植物活力剤

マキシクロップ

マキシクロップの概要

- 海藻抽出液「マキシクロップ」は、北欧の北海に繁殖する褐藻類の、アスコフィラム、ノドサムを原料として、マキシクロップ社が独自の技術で抽出精製した植物活力剤です。現在世界のトップブランドとして欧米をはじめ、世界の約40ヶ国で農業に広く実用されています。
- マキシクロップは海藻の有効成分を損なわず抽出してあるので、植物ホルモン様物質、ビタミン類、アミノ酸、多糖類、微量元素など60種類以上の有効成分を含有しています。
- マキシクロップの重要な働きは海藻に含まれる植物ホルモンやベタインなど生理活性物質により耐病性、悪環境下での抵抗力を高め、健全な育成を促進することです。従って、初期育成からの施用が重要です。
- 施用期は育苗・移植・開花・結実など特にエネルギーを要する時や・ストレスが多い時に計画的に散布するのが効果的です。

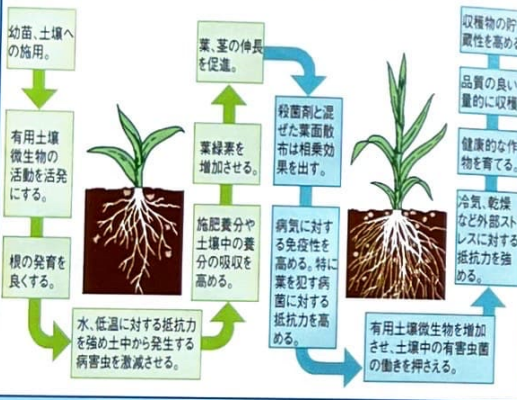
Maxicrop

マキシクロップ研究データ

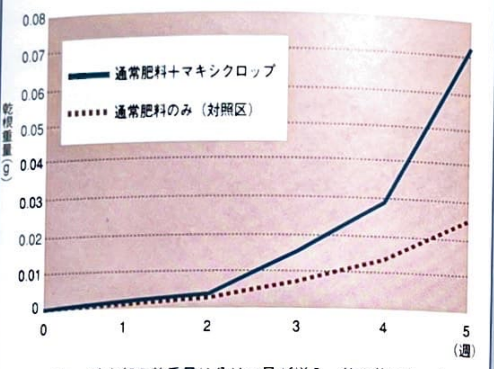
●マキシクロップの植物生長促進活動図

1. 生長初期

2. 生長後期



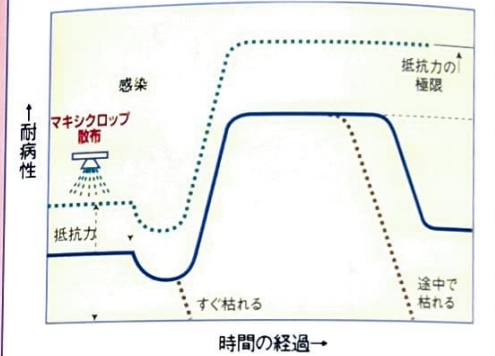
●小麦の根重量が約3倍に増加<散布5週間後>



* 地上部の乾重量は分けつ量が増え、約2倍になった。

(ウォーレス大学の実験結果)

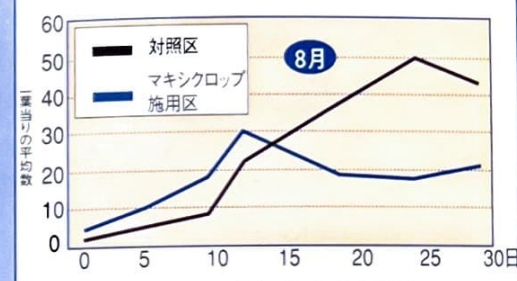
●マキシクロップの耐病性試験



* ベタインが抵抗力を高め病的症状を減退させる。

(ハンガリー植物保護協会の研究結果)

●イチゴでの赤ダニ・増減試験



- 8/1~10日まで葉裏の赤ダニ数を数えた。
- 8/11日より、週2回、対照区は水のみ、テスト区はマキシ1000倍散布。
- 2~3日は両区に変化がなかった。
- 散布4日後よりマキシ散布区は赤ダニの数が減少。対照区に比べ最高62%も減少した。

(ポーツマス大学の実験結果)

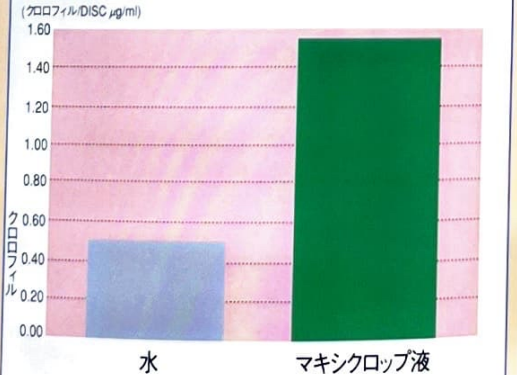
●発芽試験(発芽率の向上)

	発芽率				
	トマト	ニンジン	ハツカダイコン	夏レタス	
				(1)	(2)
対照区	47%	28%	85%	45%	85%
マキシ施用区	83%	42%	98%	63%	93%
発芽後日数	7日	10日	7日	20日	11日

- マキシクロップオリジナル(8%)1,000倍液に12時間浸漬し播種した場合、発芽率の向上が見られた。

(ハンリー・ドゥプレディー有機栽培研究所の実験結果)

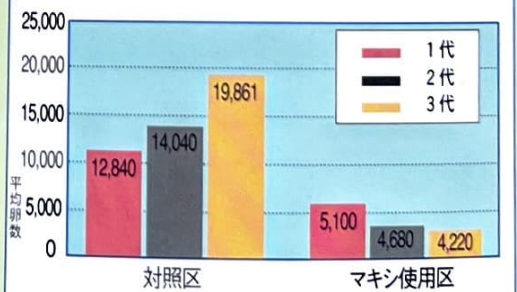
●トマト栽培試験一葉緑素が3倍に増加<散布6週間後>



* マキシクロップに含まれている植物ホルモン<サイトカイニン>やアミノ酸の特殊形態物質のベタインが葉緑素を増加させた結果である。

(ポーツマス大学の実験結果)

●ネコブ線虫の感染試験



- 対照区は世代が進む(1~3代)につれ卵数増加の傾向。
- マキシ使用区は株当たり卵数絶対数も減少し又、世代が進むにつれ減少している。
- 根圏環境の変化一予想される。

(ポーツマス大学の実験結果)

穀類	葉菜類	根菜類	果菜類
<ul style="list-style-type: none"> ●水稲●小麦 ●とうもろこし ●豆類 	<ul style="list-style-type: none"> ●ほうれん草 ●レタス・キャベツ ●春菊・白菜 	<ul style="list-style-type: none"> ●じゃがいも ●玉葱●ビート ●人参・大根 	<ul style="list-style-type: none"> ●トマト●きゅうり ●メロン ●スイカ・イチゴ
根圏の拡大 茎葉太く、肉厚 倒伏の減少 抗ストレス 粒揃・増収	高発芽率 発根促進 葉色、厚み向上 大玉結球	発根促進 茎葉太く肉厚 倒伏・玉腐れの減少 デンプン・糖度増進 等級アップ、増収	果実肥大、糖度増進 着色促進、玉伸び 成り遅れ防止 等級アップ
果樹類	花卉・観葉	茶	芝
<ul style="list-style-type: none"> ●リンゴ●桃・なし ●びわ・さくらんぼ ●ぶどう 	<ul style="list-style-type: none"> ●花卉 ●観葉植物 	<ul style="list-style-type: none"> ●一番茶 ●二番茶 ●三番茶 	<ul style="list-style-type: none"> ●ゴルフ場(グリーン) ●スポーツグラウンド
新梢伸張促進 開花、萌芽揃 肥大、着色促進 糖度増進 貯蔵性の向上	発根促進、 花、葉の色艶向上 厚い葉肉 日持ちの延長	新芽伸張促進 葉の色、厚み向上 耐干冷性の向上 樹勢強化	根の発育促進 葉の徒長を抑制 茎葉の壮健化 耐干性の向上 耐病性の向上